

# 朝日生命の現状

平成26年版／平成25年度決算

# 2014

A S A H I L I F E I N S U R A N C E D I S C L O S U R E

ごあいさつ	1
-------	---

トピックス	2
-------	---

## お客様第一の生命保険会社を目指して

中期経営計画「Action ～突破！次なるステージへ～」取組み状況	4
お客様満足の向上に向けて	6
平成25年度の保険金・給付金のお支払い状況について	9
平成25年度決算の概要	10

## 経営上の重要事項への対応

内部統制システムの基本方針	16
お客様情報の保護	17
コンプライアンス(法令等遵守)への取組み	20
リスク管理体制	24

## 事業概況のご報告

事業の概況	28
資産運用	35
社員配当金	37

## CSR(企業の社会的責任)への取組み

CSRの基本的な考え方	40
CSRの具体的な取組み	41

## より良いお客様サービスのために

サービスネットワークの充実	48	個人向け商品	55
社会に向けて	50	個人向けサービス	60
情報システム(IT)	51	企業・団体向け商品とサービス	61
教育体系	53	ご存知ですか？生命保険のしくみ	63

## より多くのお客様の声を聞くために

総代会	67
評議員会	69
ご契約者懇談会	70

## 朝日生命のご紹介

沿革・主要な業務	72
組織	73
店舗所在地	75
役員	77
関連企業	81

## 資料編

財産の状況	82	資産運用に関する指標等(一般勘定)	131
有価証券等の時価情報(全社計)	99	有価証券等の時価情報(一般勘定)	142
主要な業務の状況を示す指標等	106	特別勘定に関する指標等	147
保険契約に関する指標等	123	保険会社およびその子会社等の状況	149
経理に関する指標等	125		



## ごあいさつ

代表取締役社長 佐藤 美樹

平素より朝日生命をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当社は適切かつ透明度の高いディスクロージャーを目指し、その充実に努めております。その一環といたしまして、ここに本冊子、「朝日生命の現状2014」を作成いたしましたので、是非ともご高覧いただき、当社の経営状況へのご理解を深めていただければ幸いです。

さて、平成25年度は、政府・日本銀行の政策運営の効果により、個人消費や公共投資等の内需が底堅く推移しました。加えて、企業収益の回復を受け、雇用・所得環境が改善するなど、日本経済は緩やかな景気回復基調を辿りました。一方、海外経済については、米国は緩やかな経済成長を続けたものの、欧州における緊縮財政の影響や新興国経済の成長鈍化等、一部に弱さが見られました。

このような環境の中、平成25年度の決算では、当社が注力する第三分野の新契約において、大幅に伸展した前年度とほぼ同水準を確保し、第三分野の保有契約(年換算保険料)も前年度末より順調に増加しました。

また、基礎利益は前年を上回る水準を確保し、当期純剰余も大幅増益になりました。

加えて、剰余の積上げや株式残高の削減等により、健全性指標であるソルベンシー・マージン比率は、前年度末より大幅に向上しており、実質純資産額についても前年度末より増加いたしました。

平成26年度は、中期経営計画「Action～突破！次なるステージへ～」(平成24～26年度)の最終年度であり、保障性商品<sup>\*</sup>の保有契約(年換算保険料)反転を通じた安定したフロー収益の確保と、これによる自己資本の拡充により、更なる財務基盤の強化を図ってまいります。

今後とも皆様の倍旧のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

平成26年7月

<sup>\*</sup>死亡保障と医療保障・介護保障等の第三分野の合計

2013年		<b>個人保険商品・個人年金保険の保険料率を改定</b> 標準責任準備金を計算する利率である標準利率の改定に伴い、個人保険の予定利率を改定しました。また、医療保険(返戻金なし型)(2010)・個人年金保険等については、予定利率以外も含めて総合的な保険料率の見直しを行いました。	
	4月	<b>「Smart up!」プロジェクトを展開</b> 「キャッシュレス化の推進」「ペーパーレス化・セルフ手続化の推進」によるお客様の利便性と事務効率の向上ならびに営業拠点におけるお客様志向の組織づくりを実現するため、「Smart up!」プロジェクトの取組みをスタートしました。 <b>朝日生命と伊藤忠商事による保険マーケティング会社共同設立</b> テレマーケティング、保険ショップ等の代理店販売による保険事業を拡大するためのマーケティング会社「A & I インシュアランス・ネクスト株式会社」を共同で設立しました。	
	6月	<b>全国の介護施設へ「車いす」600台を寄贈</b> 平成25年3月の創業125周年に合わせ、「創業125周年・生きるを支えるプロジェクト」ならびに地域の社会貢献活動の一環として、全国47都道府県の介護施設に総計600台の「車いす」を寄贈させていただきました。 また、同年11月には、「介護グッズ」を600セット寄贈させていただきました。	
	7月	<b>「スマイルメディカル」「スマイルメディカル ワイド」を代理店で販売開始</b> 新たに代理店専用の商品開発体制を構築し、代理店専用の新保険商品ブランド「スマイルシリーズ」を立ち上げました。第1弾商品として、医療保険「スマイルメディカル」、引受基準緩和型医療保険「スマイルメディカル ワイド」の2商品を販売開始しました。	
	8月	<b>「あさひマイページ スマートフォンサイト」を開設</b> スマートフォンをお持ちのお客様が、当社ホームページ上のご契約者専用ページである「あさひマイページ」をより便利にお使いいただけるよう、「あさひマイページ スマートフォンサイト」を開設しました。	
	10月	<b>生命保険商品として初めて「あんしん介護」が「2013年度 グッドデザイン賞」を受賞</b> 公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2013年度 グッドデザイン賞」を生命保険商品として初めて受賞しました。 ※生命保険商品単体での受賞は初。公益財団法人日本デザイン振興会確認による。 <b>朝日生命介護あんしんサポート「緊急通報サービス」の提供を開始</b> 総合警備保障株式会社、国際警備保障株式会社と提携し、「朝日生命介護あんしんサポート」の一環として、朝日生命のお客様を対象に「緊急通報サービス」の提供を開始しました。	
		<b>「所得保障保険(返戻金なし型)」を発売</b> 病気やケガで働けなくなったときの収入減をカバーする「所得保障保険(返戻金なし型)」を「保険王プラス」の新たな保障契約として発売しました。	
	12月	<b>イオン銀行ATMで朝日ライフカードの取扱いを開始</b> みずほ銀行ATM、ゆうちょ銀行ATM、セブン銀行ATMに加えて、全国の大型ショッピングセンターやスーパー、コンビニなど約3,200拠点に設置されているイオン銀行ATMでも朝日ライフカードによる保険王積立金の引出しや契約者貸付等の各種保険取引をご利用いただけるようになりました。	
	2014年	1月	<b>みずほ銀行のお客様限定商品「みんなのかんたん医療保険」を販売開始</b> みずほ銀行の普通預金口座をお持ちのお客様に限定した団体医療保険「みんなのかんたん医療保険」(先進医療特約・がん特約)をみずほ銀行と共同開発し、みずほ銀行の全国の各支店において販売開始しました。
		4月	<b>「初期生活習慣病入院一時金特約(返戻金なし型)」を発売</b> 初期段階の生活習慣病から一時金でしっかりサポートするため、「生活習慣病保険(返戻金なし型)」に付加できる新しい特約「初期生活習慣病入院一時金特約(返戻金なし型)」を発売し、「生活習慣病保険(返戻金なし型)」の保障内容をさらにバージョンアップしました。